事務事業⊐ート 029700 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 不法投棄対策事業 所属名 市民生活部環境局 廃棄物対策課

1	其	木	害	報

	-113 IN						
位 総	体系区分	コード		名 称			区分
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	安全・安心なまち			平成17年度 ~ 全期
づ画	ブ <mark>画</mark> 政策 02 快適でゆとりある生活環			環境づ(り		根拠法令、	廃棄物の処理及び清掃に関す
17 D	施策	4204	環境保全活動の推進			根拠法市、根拠計画等	る法律
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	化灰山画寺	
目施	湖山池中央部のCOD			5.5mg	5.5mg	事業分類区分	その他
標の				0	0	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 不清	去投棄監視	費			予算事業コード	01-04-02-02-06-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

_ 4. 争未日的	(PLAN)
対象 (何を、誰を)	不法投棄監視員による全市域の不法投棄監視体制
意図 (どのような状態 にするために)	不法投棄への対策を講じ、不法投棄を未然に防止する
手段 (どうするのか)	多発する地帯に防止看板及び監視カメラを設置し、啓発を行う。 未然防止を目途に、全市域の不法投棄監視員によるパトロール等の監視体制の強化を図る。

3. 事業の年度別計画・実績	[PLAN·DO]	※年度別の取り組みを簡潔に記入

		1/2///11/	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度	E別計画	全市域(61地区) に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	全市域(61地区) に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	全市域(61地区) に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	全市域(61地区) に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	全市域(61地区) に監視員を設置 不法投棄監視員の配 置
¥	年度	別実績	全市域 61地区に設置 不法投棄監視員体制 356名	全市域 61地区に設置 不法投棄監視員体制 356名	全市域 61地区に設置 不法投棄監視員体制 353名		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		뢏(A+B)	9,011	9,738	8,895	0	0
事	直接	経費 A	1,792	2,419	1,652	0	0
業	直接経	国•県	37	0	0	0	0
費	豊田田田	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	1,754	2,419	1,652	0	0
		一般財源	1	0	0	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
職	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.	負源	を投入することで実施した活動の大き	さを衣	9 指標	[PLAN·DO]					
	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		不法投棄監視員によるパトロール回数	回数	目標	2300	2300	2300	2300	2300	
	1		凹奴	実績	2335	2373	2746	0	0	
,_		指標の説明)不法投棄監視員による年間パトロール回数								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
IVA				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)				•	•		·	

5.	平月	成30年度の事務事業実施	施概要【DO】	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	(う ら) 業概要と連動)
			【問合せ先】管理係	0857-30-8091				
			【10次総の施策体	系】4204				
			【予算上の経過】 当初予算					
			【事業の概要】 不法投棄を未然に 体制を強化した。 また、不法投棄対 している。					,
			【事業の成果】	手长≐ 几架粉~	/ 不汁机辛酰	祖昌》 (野)	∄╊╛ ┲╊╛	tr >
		事務事業の実施概要	平成 2 8 年度 平成 2 9 年度	看板設置数) 25枚 23枚 21枚	(不法投票監 6 1地区 3 6 1地区 3 6 1地区 3	5 6名 5 6名		X)
			【今後の課題・方向 不法投棄を減らす。 報・対応する不法投 の取組みにより、不 今後も引き続き本代 理等の対応に努めて	ことは、市の対 棄監視員は、7 法投棄での対応 制度を継続し、	「法投棄を減少 5件数や処理量	させるためには減少傾向にな	必要不可欠であ ある。	5り、監視員
6.	活	動指標の達成率 【CHE	ECK]					
Ŭ	/ш.		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	不法投棄監視員によるパトロール	レ 回数	102%	103%	119%		
標達は	2							
成 率	3							
Ж	達月	或率は指標の目標値 d	と実績値により算出します。	目標値がOの	年度は表示さ	れません。		
7.		西【CHECK】 西項目と評価の視点	評価内容	<u> </u>	延備押出(部	平価の視点を踏	すえて記 ス)	
	年度計画の進捗度 □ 1. 計画を上回る		□ 1. 計画を上回る		可测生四(6	「声くえれた日	らん (記入)	
当該	「業の 年度 ⁻	年度別計画・実績【PLAN・DO】より で予定した事業が3月末時点でどのよ に況となったか。	■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □					
		事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る■ 2. 目標を上回る					
「150 満:_	%以. :回る	標の達成率【CHECK】より 上:大幅に上回る」、「101%~150%未 」、「80%~100%以下:目標どおり」、	□ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る					
		0%未満:下回る」、「50%未満:大幅に ※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る					

□ 1-1 意図的に拡充 □ 4-1 意図的に縮小 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 制度的に自然減少 今後の方向性 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 ■ 3. 現状維持 □ 2-1 手段等の改善 □ 4. 縮小 □ 2-2 効率化、簡素化 □ 5-2 意図的に廃止 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-(今後も本制度を継続し、住民との協働で不法投棄の防止及び迅速な処理対応に努めていく。 □ 5-3 制度的に終了 担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

事務事業コート 029800 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 ポイ捨て・歩行喫煙防止事業 所属名 市民生活部環境局 生活環境課

	-			
1	基	本	情	報

位総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置品	置呉 まちづくりの目標 40 安全・安心なまち					事業期間	平成20年度 ~ 全期
づ温	政策	02		適でゆとりある生活環境づくり			鳥取市快適な生活環境の確保
^い の						根拠法令、 根拠計画等	に関する条例
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度		
目施 世策	湖山池中央部のC	0 D		5.5mg	5.5mg	事業分類区分	ソフト(任意)
標の				0	0	運営方法	直営
				0	0	会計区分	
予算	予算事業名				·	予算事業コード	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2.	事業目的	[PLAN]
		何人も

対象 (何を、誰を)

公共の場所においてポイ捨てをしない

意図 (どのような状態 にするために)

モラルの向上対策を行う。

手段 (どうするのか)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の	取り組み	みを簡潔	に記 2
~~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	DXVINHO	アイロル	- FI : 4

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	E別計画	啓発ポスターの配布 路上マークの設置	啓発ポスターの配布	啓発ポスターの配布	啓発ポスターの配布	啓発ポスターの配布
Ŧ	50件 路上マー/ 0件 (交換対象の		路上マークの設置	啓発ポスターの配布 80件	啓発ポスターの配布 60件		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	7,219	7,319	7,243	0	0
事	直接	経費 A	0	0	0	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
費	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
	L . ,	一般財源		0	0	0	0
_	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243		0
職	員数の	正規職員		1.00	1.00	0.00	0.00
1-50	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	. 347	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		啓発ポスターの配布件数	枚	目標	100	100	100	100	100
	1		11X	実績	50	80	60	0	0
·-		(指標の説明) ポイ捨て等防止啓発オ	゚゚スター(らく うくりゅう うんりゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう				
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
127				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•	·	·	·	

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

			【問合せ先】生活衛	生係 0857-30-8	3083					
			【10次総の施策体	系】4204						
			【予算上の経過】 なし							
				【事業の概要】 「鳥取市快適な生活環境の確保に関する条例」に基づき、公共の場所においるポイ捨て を防止するため、モラル向上対策を行う。						
			【事業の成果】 モラル向上の対策			ーを配布。				
	Ę	事務事業の実施概要	【今後の課題・方向 【今後の課題・方向 引き続き事業を実		けして啓発を行	う。				
_										
r		カ指標の達成率 【CHE	:CK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
指	1	啓発ポスターの配布件数		50%	80%	60%				
標道	2									
月 卒										
*	達成	(率は指標の目標値の	と実績値により算出します。	┃ 。目標値がOの	年度は表示さ	れません。				
7	評価	[CHECK]								
Ĺ		項目と評価の視点	評価内容		評価理由(評	平価の視点を踏	まえて記入)			
	年	度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり							
当計	该年度で	E度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。	□ 3. 事業未完了							
Γ		事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	市民への啓発	不足等が要因と	考えられる。				
		【の達成率【CHECK】より :大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 2. 目標を上回る□ 3. 概ね目標どおり							
満: 「50	上回る」)%~ 80	、「80%~100%以下:目標どおり」、 %未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価	■ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る							
				•						
8	. 事業	美の成果を踏まえた今後	後の方向性【ACTION】	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				ı		
				1-1 意図的 1-2 制度的		□ 4-1 意图 □ 4-2 制度	図的に縮小 度的に自然減少	<u>, </u>		
		今後の方向性	□ 3. 現状維持	2-1 手段等 2-2 効率化	の改善	□ 5−1 臨年	丰実施等、意図			
L			□ 5. 休止、廃止、終了 □	2-3 他事業		□ 5-2 意 □ 5-3 制				
	- 今後の かるよ	課長の評価コメント)方向性」を判断した理由が う、数値等を用いた具体的	引き続き事業を実施し、市民に対して	営発を行 つ。						

5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】

事務事業コード 030000 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 湖山池浄化対策事業 所属名 市民生活部環境局 生活環境課

1	其本	情報

	1113 116						
位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	全期
づ直	ブ画 政策 02 快適でゆとりある生活環境			環境づくり		根拠法令、	なし
17 O	施策	4204	環境保全活動の推進			依拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似地们四寸	
目施 世策	湖山池中央部のCOD			5.5mg	5.5mg	事業分類区分	ソフト(任意)
標の				0	0	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 湖口	山池浄化対	策費			予算事業コード	01-04-01-06-03-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

_	4. 争未日的	(PLAN)
	対象 (何を、誰を)	湖山池
	意図 (どのような状態 にするために)	市民が健康で快適な生活を営めるようにするため、市民・事業所・行政が一体となって湖山池の浄化を進め、生活環境の保全に努める。
	手段 (どうするのか)	鳥取県と共同で湖山池の水環境の創造に向けて、「湖山池会議」を設置し、望ましい姿である「湖山池将来ビジョン」を策定するとともに、「第 期水質管理計画」を策定し、管理計画に基づいて水質浄化事業を進めていく。

『業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の耳	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	E別計画	湖山池の巡視 アダプトの実施 推進委員会の開催 台所用る過袋購入助 成	湖山池の巡視 アダプトの実施 推進委員会の開催 台所用3過袋購入助 成	湖山池の巡視 ブレミアムサロンの開催 アダプトの実施 推進委員会の開催	湖山池の巡視 ブレミアムサロンの開催 アダプトの実施	湖山池の巡視 ブレミアムサロンの開催 アダプトの実施
tr l	年度	E別実 績	湖山池の巡視 30回 アダプトの実施 23回 推進委員会の開催 1回 台所用ろ過袋購入助 成 105件	湖山池の巡視 30回 アダブトの実施 10回 推進委員会の開催 1回 台所用ろ過袋購入助 成 14件	湖山池の巡視 30回 Mul池プレミアムサロンの開 催 2回 アダプトの実施 16回 推進委員会の開催 1回		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	10,237	10,343	9,703	0	0
事	直接	経費 A	3,018	3,024	2,460	0	0
業	古拉奴	国∙県	152	293	60	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	98	20	0	0	0
		一般財源	2,768		2,400	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	7,243	0	0
膱	員数の	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		湖山池水質浄化のためのろ過袋購入助成の数	袋	目標	120	70	0	0	0
	1			実績	105	14	0	0	0
,_		(指標の説明) 湖山池周辺の下水道	未普及均	也域への	台所用る過袋	購入助成の数			
活動		湖山池プレミアムサロンの開催数		目標	0	0	1	1	1
指	2			実績	0	0	2	0	0
「指標の説明)市民との情報共有の場である湖山池プレミアムサロンの開催数									
1024				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動) 問合せ先】環境保全係 0857-30-8084 【10次総の施策体系】4204 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P229 (環024) 【事業の概要】 1 湖山池に巡視員を設置し、水質の監視を行う。 2 塩分濃度変化のモニタリングを行い、対策・効果を評価する際の基礎資料とする。 3 湖山池プレミアムサロンを開催し、市民と情報共有を図る。 4 湖山池の状況(水質、環境、事業等)を市民へ情報提供する。 5 湖山池アダプトプログラムによる清掃活動実施、市民と湖山池の環境保全を図る。 【事業の成果】 事務事業の実施概要 巡視員によるパトロール 湖山池の取組みを市民と情報の共有及び意見を参考にするプレミアムサロンを開催 高塩分化に伴う各種環境モニタリングの実施 モニタリング結果の意見、助言をいただくモニタリング委員会の開催 アダプトプログラム制度導入による湖山池の環境保全の推進 平成 2 8 年度 3 , 0 1 8 千円 平成 2 9 年度 3 , 0 2 3 千円 平成 3 0 年度 2 , 4 6 0 千円 【今後の課題・方向性】 湖山池浄化の取組みは重要施策であり、今後とも市民との協働により事業を実施する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	湖山池水質浄化のためのろ過袋購入助成の数	88%	20%			
標達成	2	湖山池プレミアムサロンの開催数			200%		
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

7. II III CONCORT		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	■ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	台所用3過袋購入助成は、下水道普及率の向上に伴い一定の役割を果たしたため平成29年度で終了した。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、	□ 4. 目標を下回る	
「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【A	(ACTION)
-----------------------	----------

	■ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	湖山池浄化及び環境保全の取り組]みは重要施策であり、今後とも市民との協働に	こより事業を実施していく。
(「今後の方向性」を判断した理由が			
わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

事務事業⊐ート 037900 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 動物愛護管理推進事業 所属名 健康こども部鳥取市保健所 生活安全課

1	其	太	恄	報

	-113 IW						
位 総	体系区分	т П		名 称	事業区分名称	区分	
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期	
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	狂犬病予防法、動物の愛護及
けの	施策	4204	環境保全活動の推進				び管理に関する法律、鳥取市動物の愛護及び管理に関する条
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山画寺	例
目施 目策	湖山池中央部のCOD			5.5mg	5.5mg	事業分類区分	ソフト(義務)
標の				0	0	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予算	■ 予算事業名 ■動物愛護管理推進事業費					予算事業コード	01-04-01-04-05-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	人と動物
意図 (どのような状態 にするために)	「人と動物とが共生する社会の実現」を目指して動物愛護の推進を行う
手段 (どうするのか)	適正飼養の推進 譲渡・返還の推進 譲渡会事業の定着化

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	別計画			動物愛護の推進 ・適正飼養の推進 ・譲渡・返還の推進 動物取扱業を対象と した適正飼養の推進	動物愛護の推進 ・適正飼養の推進 ・譲渡・返還の推進 ・譲渡会事業の定着 化	動物愛護の推進 ・適正飼養の推進 ・譲渡・返還の推進 ・譲渡会事業の推進
谷	年度	別実績			県東部の保健所として初めて直営の譲渡会を実施 動物取扱事業者を対象とした研修会の実施		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	0	0	41,245	0	0
事	直接	経費 A	0	0	12,273	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	88	0	0
書	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	3,106	0	0
		一般財源	0	0	9,079	0	0
	人作	牛費 B	0	0	28,972	0	0
賠	員数の	正規職員	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
	3 H/ C	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.	貿馮	を投入することで実施した活動の大き	できる	9 指標	[PLAN·DO]						
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		処分頭数を100頭以下とする。	頭	目標	0	0	100	100	100		
	1		飒	実績	0	0	47	0	0		
\ ₋		(指標の説明)									
活動		直接譲渡の頭数を5頭以上とする。	頭	目標	0	0	5	5	5		
動 指	2		飒	実績	0	0	8	0	0		
標		(指標の説明)									
IN				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)	•	•			•	•			

5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動) 【問合せ先】動物愛護係 0857-20-3676 【10次総の施策体系】4204 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P220(環006) 【事業の概要】 人と動物の共生する社会の実現を図るため、動物の適正飼養についての普及啓発、動物 取扱業・特定動物飼養者への指導を行うほか、負傷動物等の収容・管理、収容動物の譲渡 促進を行う。 【事業の成果】 鳥取県東部の保健所としては初となる犬猫譲渡会をするなど、収容動物の譲渡促進を アミティエへの譲渡(犬 5頭、猫 11頭) 譲渡ボランティアへの譲渡(犬 3頭、猫 25頭) 犬猫譲渡会(犬 1頭、猫 1頭) 事務事業の実施概要 対の 動物取扱業責任者研修を実施し、動物取扱業者の資質向上を図った。 動物愛護週間(9月20日~26日)に合わせ、鳥取市立図書館において、動物愛護 関係図書コーナーを設置し、適正飼養啓発パネルを展示するなど、市民の動物愛護精 神の向上を図った。 【今後の課題・方向性】 動物の適正飼養の推進により、引取りなどによる収容頭数の減少を図ると同時に、収容 動物の譲渡をより一層推進する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指揮	1	処分頭数を100頭以下とする。			153%		
標達成	2	直接譲渡の頭数を5頭以上とする。			160%		
率	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

7. HIM TOLICOL		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	県から引継いだ業務を円滑に遂行することができた。 生活環境から引継ぐ事業の準備も順調に進められることができた。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「509%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	■ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	犬猫の殺処分頭数を100頭以下にすることができた。 直接譲渡の目標頭数をクリアすることができた。 県東部の保健所として初めて譲渡会を実施することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が	直接譲渡会を実施するなど、事業 【今後の方針等】 令和元年に改正された動物愛護法	を円滑に遂行る	けることができた。	るとともに、新	たな事業として県東部の保健所として初めて

事務事業⊐ート 038000 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 廃棄物不法投棄対策強化事業 所属名 市民生活部環境局 廃棄物対策課

1	其	木	恄	報

位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称 事業期間	区分	
位 位 置 計	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	決適でゆとりある生活環境づくり			平成30年度 ~ 全期
づ温	政策	02	快適でゆとりある生活球				廃棄物の処理及び清掃に関す
けの	施策	4204	環境保全活動の推進				る法律
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	根拠計画等	
	湖山池中央部のCOD			5.5mg	5.5mg	事業分類区分	ソフト(任意)
標の				0	0	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	▼ 予算事業名 廃棄物不法投棄対策強化事業費					予算事業コード	01-04-01-05-19-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

_	<u> </u>	(LAN
	対 象 (何を、誰を)	鳥取県東部地域(鳥取市、岩美町、若桜町、八頭町及び智頭町)
	意図 (どのような状態 にするために)	不法投棄事案及び廃棄物不適正処理事案の発生を未然防止する。 また、拡大・再発を防止するため、事案の早期発見に努める。
	ナドス (どうするのか)	廃棄物適正処理推進指導員の巡回による監視。 不法投棄多発地帯への監視カメラ及び無人警報装置の設置。 関係機関を構成員とした連絡協議会の開催、関係機関と合同でのパトロール実施。 不法投棄対策夜間パトロールの実施(警備会社への業務委託)。

	事業の年度別計画	i·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度	E別計画			視 連絡協議会及び合同	廃棄物適正処理推進 指導員の巡回による監視 視 連絡協議会及び合同 パトロールの実施 不法投棄対策夜間パ トロールの実施	廃棄物適正処理推進 指導員の巡回による監 視 連絡協議会及び合同 パトロールの実施 不法投棄対策夜間パ トロールの実施
tr l	年度別実績				202回実施 連絡協議会:2回実 施、合同パトロール: 15箇所実施 198箇所		
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)		0	0	12,826	0	0
事	直接	経費 A	0	0	3,537	0	0
業	直接経	国∙県	0	0	0	0	0
費	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	2,691	0	0
		一般財源	0	0	846	0	0
<u> </u>	人作	牛費 B	0	0	9,289	0	0
膱	員数の	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.	貧洲	Rを投入することで美施した活動の大き	さを衣	5 指標	[PLAN·DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		廃棄物適正処理推進指導員による巡回回数		目標	0	0	194	194	194
	1			実績	0	0	202	0	0
,_		(指標の説明) 廃棄物適正処理推進	指導員に	こよる巡	回回数				
活動		合同パトロールでの確認箇所数	箇所	目標	0	0	15	15	15
動指	2		回门	実績	0	0	15	0	0
煙	信 (指標の説明) 合同パトロール実施回数								
IX.		夜間パトロールでの確認箇所数	箇所	目標	0	0	198	198	198
	3		画別	実績	0	0	198	0	0
		(指標の説明) 夜間パトロール実施回	数			•	•		

F 亚芹00年度の東敦東業宝佐畑西	[[DO]	ツギケ中の	吸り組 かま 目 仕	かり こうしょく マ ケ	「古み古类の古	と はままり なままり
5. 平成30年度の事務事業実施概要				がルー記入(ア昇	事務事業の事	耒ベ安と理 期)
事務事業の実施概要	【問合せ先】指導係 【10次総のの経験を 【10次総のの経験を 「事業は 「事業は 「事業は 「事業を 「事業を 「事業を 「のである」 「のである。」 「のである。 「のでも、 「のである。 「のである。 「のである。 「のである。 「のである。 「のである。 「のである。 「のである。 「のでする。 「のである。 「のでも、 「のである。 「のでも、 「のでも。 「のでも、 「のでも。 「のでも。 「のでも。 「のでも。 「のでも。 「のでも。 「のでも。 「のでも。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し。 「し	0857-30-8092 】 4204 】 4204 予 算 事 物・の	是目次:当初予 理事案の監関 で関係を期 で関係を関係を を対して のとのでである。 のとのでである。 のとのでである。 のとのでである。 のとのでである。 のとのでである。 のとのできる。 のは、このでは、このできる。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	算・P223 ・指導のためのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでである。	(環 0 1 1) の人員配置や監合同での活動を して不法を リール実施により	登視カメラ・ を 行う を 作 が は た が は た の は り は り に り に り に り に り に り に り に り に り
6. 活動指標の達成率【CHECK】	,	亚世20年安	亚世00左帝	亚世20左帝	亚芹01左座	△和0左座
指標名	•	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	4 X X					1

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

合同パトロールでの確認箇所数

夜間パトロールでの確認箇所数

指標達成率 3

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了 □	
事業の成果 6. 活動指標の達成率 [CHECK]より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標どおり」、 150%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

104%

100%

100%

8	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
Ο.	サネツルへと叫るたに / 区ツカロコ	LACITOIN,

<u> </u>					
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)					

事務事業コード 038100 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 PCB廃棄物処理対策推進事業 所属名 市民生活部環境局 廃棄物対策課

1	其	木	恄	邿

位。総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
世音計で	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	安全・安心なまち			平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活球	快適でゆとりある生活環境づくり			ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適
けの	施策	4204	環境保全活動の推進			根拠法令、 根拠計画等	正な処理の推進に関する特別 措置法
+/-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	月旦/公
目施	湖山池中央部のCOD			5.5mg	5.5mg	事業分類区分	ソフト(義務)
標策の				0	0	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 PC	B廃棄物奶	.理対策推進事業費			予算事業コード	01-04-01-05-19-06

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	(LAIV
対象 (何を、誰を)	市内及び東部四町のPCB廃棄物等保管使用事業者
意図 (どのような状態 にするために)	PCB廃棄物等の適正保管及び期限内処理の指導を行い、確実かつ適正な処理の推進を図り、もって市民及び町民の健康の保護及び生活環境の保全を図ることを目的とする。
手段 (どうするのか)	中小企業者等が保有する低濃度PCB汚染機器の処理経費に対して補助金を交付することにより早期処理推進を図る(平成30年度)。 PCB特措法に基づき、未把握PCB廃棄物等の掘り起こし、PCB廃棄物等に係る届出の受理、PCB廃棄物等の適正保管及び早期処理の指導、また、それらの徹底のための立入検査を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の	取り糸	日みを	飾懘	드記入

Ė	, ,,,,,,,	1,2,3,11,11	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	公元のを間景に記入
			十成20千及	十成29千及			令和2年度
内容	年度	E別計画			低濃度PCB汚染機器 処理経費補助 PCB廃棄物等関係届出受理 PCB廃棄物等保管使用業者 への立入検査	高濃度PCB含有安定 器の掘り起しし調査 PCB廃棄物等関係届出受理 PCB廃棄物等保管使用事業 者 への立入検査	PCB廃棄物等保管使用事業者 名 への立入検査
T	年度	医別実績			低濃度PCB汚染機器 処理経費補助 14事業者34台 PCB廃棄物等保管処分状況 届 出 118件 PCB廃棄物等保管使用事業 者 への立入検査 延べ107件		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	0	0	9,252	0	0
事	直接	経費 A	0	0	2,009	0	0
業	±+÷ 4▽	国·県	0	0	1,004	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	1,005	0	0
	人作	牛費 B	0	0	7,243	0	0
田中	員数の	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	貝剱の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	אם נייו	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		高濃度PCB廃棄物等の処分台数(汚染物除く)	台	目標	0	0	339	315	315		
	1			実績	0	0	24	0	0		
: -		(指標の説明) 目標値:前年度末時点で処分が必要な機器の台数。実績値:前年度中に処分された台数。									
活動		低濃度PCB廃棄物等の処分台数(汚染物除く)	台	目標	0	0	282	204	204		
指	2			実績	0	0	78	0	0		
標		(指標の説明) 目標値:前年度末時点で処分が必要な機器の台数。実績値:前年度中に処分された台数。									
ly.k				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

(うら) 5. 平成30年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動) 【問合せ先】指導係 0857-30-8092 【10次総の施策体系】4204 【予算計上の経過】予算事業別概要目次:当初予算・P224(環014) 低濃度PCB汚染機器の処理経費補助(平成30年度) (中小企業者等が保有する低濃度PCB汚染機器の処理経費の1/2を補助) 人体に有害なPCB廃棄物等を早期・適正に処理するため、漏れのない確実な期限内処理に 向けて以下の事務を実施する。 未把握のPCB廃棄物の掘り起こし PCB廃棄物等に係る保管等の届出の受理 PCB廃棄物等適正保管・早期処理の普及啓発 保管使用事業者への立入検査 事務事業の実施概要 【事業の成果】 低濃度PCB廃棄物の処理経費補助 14事業者、34台 PCB廃棄物等関係届出受理 118件 PCB廃棄物等保管使用業者への立入検査 延べ107件 【今後の方向性】 PCB廃棄物等は処理期限が定められているため、期限内処理に向け、PCB廃棄物等保管使 用事業者に対する指導等を引き続き行っていく。 また、期限内の適正処理推進のため、令和3年3月末が処理期限となっている高濃度PCB

6. 活動指標の達成率 【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指	1	高濃度PCB廃棄物等の処分台数(汚染物除く)			7%		
標達成	2	低濃度PCB廃棄物等の処分台数(汚染物除く)			28%		
率	3						

含有安定器について掘り起こし調査を実施し、未把握のPCB廃棄物等保管使用事業者の把握

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値がOの年度は表示されません。

に努める

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	計画達成に向けて処理が遅れている案件は無い。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了□	
事業の成果 6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%以下: 目標とおり、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る	PCB廃棄物等の新規把握状況等により達成率が大きく左右されるため、計画達成率は50%未満だが処理が遅れているわけではない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	■ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小			
	□ 2. 改善継続	■ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少			
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止			
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止			
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了			
担当課長の評価コメント	PCB廃棄物等は処理期限が定めら とが重要。	れているため.	、期限内処理に向け、PCB廃棄物	勿等保管使用事	業者に対する指導等を引き続き行っていくこ			
(「今後の方向性」を判断した理由が								
1777 のの ノ、 外に サビバル たみかい	進めていかなければならない。							
な成果と、今後の改善プランを記載)								

事務事業評価シート 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 市民生活部環境局 生活環境課 事務事業コード 038200 重点施策 水質·土壌対策事業 事務事業名

1. 基本情報

1. 42.7	אד הויד						
☆ 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち				全期
	政策	02		快適でゆとりある生活環境づくり			水質汚濁防止法、土壌汚染対
¹⁷ の	施策	4204	環境保全活動の推進			根拠法令、 根拠計画等	策法等
+/-		目標の種別			令和2年度	似地们四寸	
目施	湖山池中央部のC	0 D		5.5mg	5.5mg	事業分類区分	ソフト(任意)
標の				0	0	運営方法	外部委託
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 水質	質·土壌対策	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			予算事業コード	01-04-01-06-02-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています

		ふ・心水の口は16~の心水の工女な事木の計画16位ではたしている。
2. 事業目的	[PLAN]	
対象 (何を、誰を)	市民	
意図 (どのような状態 にするために)	健康保護及び生活環境を保全するため	
手段 (どうするのか)	公共用水域の常時監視等を行う。	

3.	事業の名	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画				公共用水域の常時監視 現 事業場への立入	公共用水域の常時監視 事業場への立入	公共用水域の常時監視 事業場への立入
17	年度	別実績			公共用水域の常時監視 現 事業場への立入件数 10件		
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	0	0	26,165	0	0
事	直接	経費 A	0	0	20,371	0	0
業	直接経	国∙県	0	0	0	0	0
	旦佞栓 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	20,371	0	0
	人作	牛費 B	0	0	5,794	0	0
舳	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.80	0.00	0.00
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4 次海ナルユナスニレス字体」と活動の十キャナませた博 【DLANEDO】

<u>4.</u>	負源	を投入することで実施した活動の大き	さを衣	9 指標	[PLAN-DO]					
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		水質汚濁防止法第22条に基づ<事業場立入件数	件	目標	0	0	10	15	15	
	1		I T	実績	0	0	10	0	0	
\ ₋		(指標の説明)								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動 指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
IN				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5.	平成	は30年度の事務事業実施	施概要 【DO】 			的に記入(予昇	事務事業の事	業概要と連動)			
			【10次総の施策体		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
			【予算計上の経過】								
			予算事業別概要目	次:当初予算・	P 2 2 6 (017)					
			【事業の概要】 市域の水質汚濁防	止法・土壌汚茅	的大学	に基づく事務を	を行う。				
			【事業の成果】 河川、湖沼及び地	下水等の水質活	₹濁防止のため	、公共用水域の	の常時監視・事	『業場の立入			
			検査を実施した。 土壌汚染の状況を								
	Ī	事務事業の実施概要		【今後の課題・方向性】 - 今後とまさ今等に其づき、吉民の軌道な生活を保持する取り組みを進めている。							
			今後とも法令寺に	今後とも法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。							
6.	活重	加指標の達成率 【CHE			·	· • • • •	· • • •				
		才 水質汚濁防止法第22条に基づく	指標名 〈事業場立入件数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
指標	\vdash					100%					
達 成		 									
率	Ŭ	· · · · · ·		·-·-	· · · · ·						
			と実績値により算出します。	,目標値かひの	年度は表示さ	れません。					
		団【CHECK】 「項目と評価の視点 ┃	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)							
			41 100 1 3 10	評価理田(評価の視点を踏まえて記入)							
3 事		及可凹切连沙皮	□ 1. 計画を上回る	 	評価理由(評		よんで記入/				
		F度別計画・実績【PLAN・DO】より	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了		評価理由(言	半価の視点を踏	よんで記入)				
当該全	年度で	F度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ 兄となったか。	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了□		評価理由(訂	¥価の視点を踏 	<u>よん(能入)</u>				
当該全	年度で	F度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ 兄となったか。 事業の成果	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了		評価理由(<u>î</u>	¥価の視点を踏	よん (能人)				
当該 ⁴ うな道 6. 活 「1509	年度で ⁻ 生捗状況 動指標 %以上	F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ 兄となったか。 事業の成果	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了□□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり		評価理由(訂	₩価の視点を踏	よん (記八)				
当該道 6. 活 「150% 「50%	年度できません。 生捗状況 動指標 %以上に と回る」、 6~809	E度別計画・実績 [PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ 兄となったか。 事業の成果 「の達成率 [CHECK]より : 大幅に上回る」、「101%~150%未 「80%~100%以下: 目標とおり」、 04ま巻、下回る」、「5004ま巻、本幅/	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了□□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る		評価理由(訂	半価の視点を踏	よん (記八)				
当該4 うな進 6. 活「1509 満:上 「50%	年度できません。 生捗状況 動指標 %以上に と回る」、 6~809	E度別計画・実績 [PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ 兄となったか。 事業の成果 「の達成率 [CHECK]より : 大幅に上回る」、「101%~150%未 「80%~100%以下: 目標とおり」、 04ま巻、下回る」、「5004ま巻、本幅/	 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る 		評価理由(訂	半価の視点を踏	よん (記八)				
当該4 うな道 6. 活「1509 満:上 「509% 下回る	年度できません。 重歩状況 動指標 %以上 上回る」、 6~80% る」※1	F度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 意の達成率【CHECK】より : 大幅に上回る」、「101%~150%未 「80%~100%以下: 目標とおり」、 %未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 最も達成度の低い指標で評価	 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る 	1-1 意図的							
当該4 うな道 6. 活「1509 満:上 「509% 下回る	年度でで活動指標とし、80%る」※	F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「家の達成率【CHECK】より ・: 大幅に上回る」、「101%~150%未 「、180%~100%以下:目標とおり」、 %未満・下回る」、「50%未満: 大幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画とおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を機能 □ 5. 目標を機能 □ 2. 改善継続	1-1 意図的 1-2 制品	に拡充 に自然増加	□ 4-1 意図 □ 4-2 制度	図的に縮小 度的に自然減少				
当該4 うな道 6. 活「1509 満:上 「509% 下回る	年度でで活動指標とし、80%る」※	F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 原の達成率【CHECK】より ::大幅に上回る」、「101%~150%未 : 150%と100%以下:目標とおり」、 %未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画とおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 3. 概ね目標をのおり □ 4. 目標を大幅に下回る ■ 5. 目標を大幅に下回る ■ 1. は標を下幅に回る ■ 3. 概は持たではである。 □ 3. 概を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を		に拡充 に自然増加 の改善	□ 4-1 意図 □ 4-2 制度	図的に縮小 度的に自然減少 F実施等、意図6				
当該な進 6. 活50 「150 下 下回る	年度でで、	F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「家の達成率【CHECK】より : 大幅に上回る」、「101%~150%未 : 580%~100%以下: 目標とおり」、 %未満:下回る」、「50%未満: 大幅に 最も達成度の低い指標で評価 この成果を踏まえた今後 今後の方向性	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画とおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 3. 概ね目標を回る ■ 3. 概は標をといる ■ 5. 目標を大幅に下回る □ 4. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に回る □ 3. 概様表を大幅に回る □ 4. 目標を大幅に回る □ 3. 根標を大幅に回る □ 4. 目標を大幅に回る □ 1. 拡充 単分割の □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨年 □ 5-2 意図 □ 5-3 制度	図的に縮小 度的に自然減少 拝実施等、意図6 図的に廃止				

事務事業→ 038201 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 水質・土壌対策事業(東部四町) 所属名 市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

1. 42.7	T'						
☆ 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成30年度 ~ 全期
が画けの	政策	02	快適でゆとりある生活球	快適でゆとりある生活環境づくり			水質汚濁防止法、土壌汚染対
	施策	4204	環境保全活動の推進			根拠法令、 根拠計画等	策法等
+/-		目標の種別			令和2年度	似灰山凹寸	
目施	湖山池中央部のC	0 D		5.5mg	5.5mg	事業分類区分	ソフト(義務)
標の				0	0	運営方法	外部委託
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 水質	質·土壌対策	(東部四町)			予算事業コード	01-04-01-06-02-07

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	東部四町域住民
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	健康保護及び生活環境を保全するため
手段 (どうするのか)	公共用水域の常時監視等を行う

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画				公共用水域の常時監 視 事業場への立入	公共用水域の常時監視 事業場への立入	公共用水域の常時監視 事業場への立入
Tr.		E別実績			公共用水域の常時監視 現 事業場への立入件数 16件		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	0	0	8,912	0	0
事	直接	経費 A	0	0	7,463	0	0
業	古拉奴	国・県	0	0	0	0	0
書	直接経費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳		0	0	5,885	0	0
		一般財源	0	0	1,578	0	0
	人作	牛費 B	0	0	1,449	0	0
職	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
l '	3 Hr V	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

	J. 111.	ではスパッのことで大心した石却の人と		/ 1111//					
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		水質汚濁防止法第22条に基づく事業場立入件数	件	目標	0	0	16	16	13
活	1		1+	実績	0	0	16	0	0
		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
175				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
_									

5.	平成30年度の事務事業実施概要				的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)	
		【問合せ先】環境保全	全係 0857-30-8	8084				
		【10次総の施策体系	系】4204					
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目》	次:当初予算・	P 2 2 6 (環	018)			
		【事業の概要】 東部四町域の水質》	汚濁防止法・Ⅎ	_壤汚染対策防	i止法等に基づ	く事務を行う。		
		【事業の成果】			0 U m 1.14	W-+#640		
		河川、湖沼及び地 ⁻ 検査を実施した。 土壌汚染の状況を打					≨業場の立人	
	事務事業の実施概要	【今後の課題・方向性】 今後とも法令等に基づき、住民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。						
6.	活動指標の達成率【CHECK】 指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		干队20十岁	干队23十岁	干队の十尺	干队の十段	71441支		
	水質汚濁防止法第22条に基づ〈事業場」	Z/(11 xx	l i		1000/			
指標		E7(11 &A			100%			
標達成	2				100%			
標達	2				100%			
標達成率	2		目標値が0の	年度は表示さ				
標達成率 ※ 7.	2 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】	値により算出します。	目標値が0の		れません。			
標達成率 ※ 7.	2 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	値により算出します。	目標値が0の			まえて記入)		
標達成率 ※ 7.	2 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 □ 1. ■ 2.	値により算出します。 評価内容 計画を上回る 計画どおり	目標値が○の		れません。	まえて記入)		
標達成率 ※ 7. 3.当	2 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 □ 1. ■ 2.	値により算出します。 評価内容 計画を上回る	目標値がOの		れません。	まえて記入)		
標達成率 ※ 7. 3.当	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 □ 1. ■ 2. ■ 3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	値により算出します。 評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了	目標値が○の		れません。	まえて記入)		
標達成率 ※ 7. 3.5% 6.150	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ 3. □ □ 3. □ 3. □ □ 3. □ □ 3. □ 3. □ 3. □ 3. □ 3. □ □ 3. □ 3. □ 3. □ 3. □ □ 3. □ 3. □ 3. □	値により算出します。 評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり	目標値が○の		れません。	まえて記入)		
標達成率 <u>※ 7. ま藤は、 2. またまた。 2. またまたまた。 2. またまた。 2. またまた。 2. またまた。 2. またまた。 2. またまた。 2. またまた。 2. またまたまた。 2. またまたまた。 2. またまた。 2. またまたまた。 2. またまたまた。 2. またまたまた。 2. またまたまた。 2. またまたまた。 2. またまたまたまた。 2. またまたまたまたまたまたまた。 2. またまたまたまたまたまたまた。 2. またまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた。 2. またまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた</u>	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 □ 1. ■ 2. ※素の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 年度で予定した事業が3月末時点でどのよ 単数状況となったか。 □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ 4. □ 3. □ 4. □ 3. □ 4. □ 4	値により算出します。 評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る	目標値がOの		れません。	まえて記入)		
標達成率 ※ 7. 3.当为	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 □ 1. ■ 2. ※素の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 年度で予定した事業が3月末時点でどのよ 単数状況となったか。 □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ □ 4. □ 3. □ 4. □ 3. □ 4. □ 3. □ 4. □ 4	値により算出します。 評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり 目標を下回る	目標値がOの		れません。	まえて記入)		
標達成率 ※ 7. 3.4歳な 6.115050回	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「業の年度別計画・実績 [PLAN・DO]より 年度で予定した事業が3月末時点でどのよ 推捗状況となったか。 事業の成果 「動指標の達成率 [CHECK]より %以上:大幅に上回る」、「101%とで、150%未満:大幅に 2回る」、「101%とで、150%未満:大幅に 3」、※最も達成度の低い指標で評価 事業の成果を踏まえた今後の方[値により算出します。 評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 間標を上回る 概ね目標をおり 目標を大幅に下回る 目標を大幅に下回る		評価理由(言	でれません。			
標達成率 ※ 7. 3.4歳な 6.715050回	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 は業の年度別計画・実績【PLAN・DO]より 年度で予定した事業が8月末時点でどのよ性 地状況となったか。 事業の成果 「欧邦福の達成率【CHECK】より %以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 に配う」、「80%~100%以下:目標とおり」、6~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に る」※最も達成度の低い指標で評価 事業の成果を踏まえた今後の方 「□ 1.	値により算出します。 評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 概ね目標を大幅に下回る 目標を大幅に下回る 同性【ACTION】	1-1 意図的	評価理由(訂	すれません。平価の視点を踏□ 4-1 意図		•	
標達成率 ※ 7. 3.4歳な 6.715050回	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「業の年度別計画・実績【PLAN・DO]より 年度で予定した事業が3月末時点でどのよ性 地域況となったか。 事業の成果 「B動指標の達成率【CHECK】より 96以上:大幅に上回る」、「10196~15096未 回る」、「8096~10096以下:目標とおり」、6~8096未満:下回る」、「5096未満:大幅に	値により算出します。 評価内容 計画を上りり 事性とおって 目標を大幅に上回る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	評価理由(記 拡充 に自然増加 の改善	でれません。 平価の視点を踏 ロ 4-1 意図 ロ 4-2 制度 ロ 5-1 臨4	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図		
標達成率 ※ 7. 3.4歳な 6.715050回	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ■ 2. ■ 3. □ 2. □ 3. □ 4. □ 5. □ 5. □ 3. □ 4. □ 5	値により算出します。 評価内容 計画をおって 計画をおって 目標を大に回る はではいる はではいる はではいる はではいる はではいる はではない。 はいない。 はいないはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいは	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 列等 2-2 効事 2-3 他事業	評価理由(記 ・ 放 ・ 放 ・ 放 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	ません。 平価の視点を踏 中価の視点を踏 ロー4-1 意図 ロー4-2 制度 ロー5-1 高度 ロー5-2 制度 ロー5-3 制度	図的に縮小 度的に自然減少 軍実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	的に休止	
標達成率 <u>※ 7. 3.4 8.4 8.4 8.5 8.4 8.6 15.5 15.5 15.5 15.5 15.5 15.5 15.5 15</u>	1 2 3 3 達成率は指標の目標値と実績 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 は業の年度別計画・実績【PLAN・DO]より 年度で予定した事業が3月末時点でどのよ 性が状況となったか。 事業の成果 「CHECK】より %以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 に回る」、「80%~100%以下:目標とおり」、6~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に る」※最も達成度の低い指標で評価 事業の成果を踏まえた今後の方 「 1. 2. 4. 5. 4. 15 5. 15 6 6 7 6 7 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	値により算出します。 評価内容 計画を上のの 計画をおって 目標を大幅により 目標を大幅により 自標を大幅に下回る の性【ACTION】 拡充・機・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1-1 意図的 1-2 制度図的 2-1 勃度と 2-2 効事化 2-3 他事変化 2-3 他事変の変	に拡充 に自然増加 の簡素化 との統合 k質汚濁防止法・土地	ません。 平価の視点を踏 中価の視点を踏 ロー4-1 意図 ロー4-2 制度 ロー5-1 高度 ロー5-2 制度 ロー5-3 制度	図的に縮小 度的に自然減少 軍実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	的に休止	

事務事業コート 038300 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 騒音・振動・悪臭対策事業 所属名 市民生活部環境局 生活環境課

1	甘.	*	小	ŧ	4	ξĸ	3

1. 257	T` H TK						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	~
	政策	02	快適でゆとりある生活球	央適でゆとりある生活環境づくり			騒音規制法、振動規制法、悪臭
けの	施策	4204	環境保全活動の推進 」			根拠法令、 根拠計画等	防止法
+/-		目標の種別			令和2年度	似灰山凹寸	
目施	湖山池中央部のCOD			5.5mg	5.5mg	事業分類区分	ソフト(義務)
標の				0	0	運営方法	外部委託
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 騒音	音·振動·悪	臭対策費			予算事業コード	01-04-01-06-02-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2.	事業目的	[PLAN]
		市民

対象 (何を、誰を)

市民の快適な生活を保持するため

意図 (どのような状態 にするために)

自動車騒音の常時監視、悪臭測定等を行う。

手段 (どうするのか)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みる	を簡潔に記え
------------	--------

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画				自動車騒音常時監視	自動車騒音常時監視	自動車騒音常時監視
台	年度	E 別実績			自動車騒音常時監視		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	0	0	8,278	0	0
事	直接	経費 A	0	0	2,484	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
費	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	2,484	0	0
<u> </u>	人作	牛費 B	0	0	5,794	0	0
膱	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.80	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.	頁源	貧源を投入することで美施した活動の大ささを表す 指標			[PLAN-DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		自動車騒音常時監視業務における対象区間数	区間	目標	0	0	20	22	20
	1		의 스	実績	0	0	20	0	0
\- <u>-</u>		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動 指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1214				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)	•	•	•	•		•	

5. <u>s</u>	平瓦	뷫30年度の事務事業実施					めに記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)		
	_		【問合せ先》	環境保全	全係 0857-30-8	3084					
			【10次総の	D施策体3	系】4204				1		
			【予算計上の予算事業別		次:当初予算・	P 2 2 7 (環	{019)				
			【事業の概要 市域の騒音		・振動規制法・	悪臭防止法に	ニ基づく事務を行	行う。			
				【事業の成果】 各公害防止関連法令に基づき、公害発生の監視及び未然防止に努めた。							
	ļ	事務事業の実施概要		【今後の課題・方向性】 今後とも法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。							
									ļ		
									Ī		
									!		
									j		
									j		
<u> </u>	<u> </u>		•								
6. /			旨標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
指	1	自動車騒音常時監視業務における					100%				
標	2	<u> </u>									
成 -		 			 	<u>'</u>	 		 		
率	3		- Intra			<u> </u>		<u> </u>			
% :	室成	乾率は指標の目標値と	実績値により算出	北ます。	目標値がOの	年度は表示さ	れません。				
		「CHECK」	==		•	/ +ru - <u> </u> /=	··	1 /			
ā		西項目と評価の視点 [評価内容 □ 1. 計画を上回る		 	評価埋田(計	評価の視点を踏っ	まえて記人)			
	午	- 度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり	´							
当該年	F度で	F及別計画・美模 [PLAN・DO]より	□ 3. 事業未完了□	_	_	_					
			□ 1. 目標を大幅に								
		票の達成率【CHECK】より	□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どお	_							
満:上回「50%~	回る」。 ~ 809	:: 入幅に工回る」、「101%~150%末 、「80%~100%以下: 目標どおり」、 %去満・下回る」「50%去満・大幅に	□ 4. 目標を下回る	5							
		最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に	-下凹る							
8. 4	事訓	美の成果を踏まえた今後(の <u>方向性【ACTI</u> (
	_		□ 1. 拡充 □ 2. 改善継続		1-1 意図的 1-2 制度的		□ 4-1 意図	図的に縮小 度的に自然減少			
		今後の方向性	■ 3. 現状維持		2-1 手段等	の改善	□ 5−1 臨年	年実施等、意図			
		[□ 4. 縮小		2-2 効率化	、簡素化	□ 5-2 意図	図的に廃止			
\vdash		今	□ 5. 休止、廃止、 今後とも法令等に基づき、		2-3 他事業 監視及び未然防止に努		┃□ 5−3 制度 生活を保持する取り組				
(「今 わか	き後σ いるよ	i課長の評価コメント D方向性」を判断した理由が こう、数値等を用いた具体的									

事務事業→ 038301 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 騒音・振動・悪臭対策事業(東部四町) 所属名 市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

1. 0	T'						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が高	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	騒音規制法、振動規制法、悪臭
けめ	施策	4204	環境保全活動の推進			根拠法市、根拠計画等	防止法
+/-		目標の種別			令和2年度	似灰山凹寸	
目施	湖山池中央部のC	湖山池中央部のCOD			5.5mg	事業分類区分	ソフト(義務)
標页の				0	0	運営方法	外部委託
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 騒音	音·振動·悪	臭対策費(東部四町)			予算事業コード	01-04-01-06-02-08

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	東部四町域住民
意図 (どのような状態 にするために)	市民の快適な生活を保持するため
手段 (どうするのか)	自動車騒音の常時監視、悪臭測定等を行う。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の]	取り組みを簡潔に記入
Ť	7 / (7)	1 2 3 11 1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画				自動車騒音常時監視	自動車騷音常時監視	自動車騒音常時監視
谷	年度	医別実績			自動車騒音常時監視		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	0	0	2,367	0	0
事	直接	経費 A	0	0	918	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
	費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	918	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
	人作	牛費 B	0	0	1,449	0	0
膱	員数の	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	, , par (臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		自動車騒音常時監視業務における対象区間数	区間	目標	0	0	5	2	5
	1		스间	実績	0	0	5	0	0
,-		(指標の説明)							
活動	2			目標	0	0	0	0	0
指				実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1,724				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平成	は30年度の事務事業実施権	概要【DO】	【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)						
			【問合せ先】環境例	呆全係 0857-30-6	3084					
			【10次総の施策体	本系】4204				ĺ		
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	】 目次:当初予算 [,]	P 2 2 7 (環	(020)				
			【事業の概要】 東部四町域の騒音		制法・悪臭防	i止法に基づく░	事務を行う。			
			【事業の成果】 各公害防止関連法	去令に基づき、2	:害発生の監視	!及び未然防止	こ努めた。			
	Ą	事務事業の実施概要		【今後の課題・方向性】 今後とも法令等に基づき、住民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。						
								J		
								J		
6 <u>.</u>	活重	カ指標の達成率 【CHECI	K]							
		指	標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
指槽		自動車騒音常時監視業務における第	対象区間致	!		100%		l		
標達	2									
成率	3			+				<u> </u>		
			実績値により算出します	 ナ _^ 目標値が0 <i>0</i>	年度は表示さ	 ゝれません。				
			Cipelia.	0 H pr		.400 = .				
		5【CHECK】 5項目と評価の視点 ┃	評価内容		評価理由(訂	評価の視点を踏っ	まえて記入)			
		度計画の進捗度] 1. 計画を上回る				_			
3 事			■ 2. 計画どおり]3. 事業未完了							
当該年	年度でき	F及別計画・美線【PLAN・DOJより 予定した事業が3月末時点でどのよ 兄となったか。								
] 1. 目標を大幅に上回る] 2. 目標を上回る	5						
Γ1509	%以上:	票の達成率【CHECK】より :大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり							
満:上 「50%	□る」、 6~809	、「80%~100%以下:目標どおり」、 □] 4. 目標を下回る] 5. 目標を大幅に下回る	۲						
1	14 7.	ADEMIKANDA INIM	1 O. H. INC. VIB V	<u>' I </u>						
8	事 <u></u> 掌	その成果を踏まえた今後の	D方向性【ACT <u>ION】</u>							
] 1. 拡充	□ 1-1 意図的		□ 4-1 意図				
				□ 1-2 制度的 □ 2-1 手段等			<mark>度的に自然減少</mark> 年実施等、意図的			
] 4. 縮小 [□ 2-2 効率化	、簡素化	□ 5-2 意図	図的に廃止			
\vdash		中村		『務委託を受け、同域の『	騒音規制法・振動規制		基づく事務を行うこと	ととなった。今後と		
(Г4	担当課長の評価コメント 担当課長の評価コメント 「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的									

事務事業→ 038400 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 大気汚染物質調査事業 所属名 市民生活部環境局 生活環境課

1	其本	情報

	T'ID TK						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち				平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活球	快適でゆとりある生活環境づくり			大気汚染防止法
けの	施策	4204	睘境保全活動の推進			根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	似灰山画寺	
目施	湖山池中央部のC	湖山池中央部のCOD			5.5mg	事業分類区分	ソフト(義務)
標の				0	0	運営方法	外部委託
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 大気	瓦汚染物質	調査事業費			予算事業コード	01-04-01-06-02-04

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2.	事業目的	[PLAN]
		市民

対象 (何を、誰を)

健康保護及び生活環境を保全するため

意図 (どのような状態 にするために)

大気汚染物質の常時監視及び事業場の行政検査を行う。

手段 (どうするのか)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入

3.	3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記人							
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画				行政検査の実施	行政検査の実施	行政検査の実施	
谷	年度	医別実績			行政検査の対象事業 場数 4件			
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費	費(A+B)	0	0	16,267	0	0	
	直接	経費 A	0	0	9,024	0	0	
事業	±+÷ 4∇	国・県	0	0	0	0	0	
	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0	
1~	順内訳	その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	9,024	0	0	
	人作	牛費 B	0	0	7,243	0	0	
田立い	日粉の	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
眓	員数の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	אמניו	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		行政検査の対象事業場数	数	目標	0	0	3	3	3
ı	1		奴	実績	0	0	4	0	0
		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IVA				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)				·	·		

5.	半及	戊30年度の事務事業実 抗	<u> </u>			的に記入(予算	- 事務事業の事	業概要と運動)	
			【10次総の施策体		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
			【予算計上の経過】		5 2 2 0 / 12	1004\			
			予算事業別概要目	次:当初で昇・	P 2 2 8 (艰	021)			
			【事業の概要】 大気汚染防止法に	1基づき、環境活	5染の防止又は	その除去等に関	関する施策を実	淫施する。	
			【事業の成果】 大気汚染防止法に めた。	大気汚染防止法に基づき、大気汚染状況の常時監視等を行い、公害発生の未然防止に努					
	I	事務事業の実施概要		【今後の課題・方向性】 今後とも法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。					
6.	活動	助指標の達成率 【CHE I		亚世00年度	亚代00年度	一元代の存在	で 代の 年 庫	△≦□○左帝	
		子 行政検査の対象事業場数	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
指標	\vdash	 		-		1 00 /0			
達成	2								
率			成—————————————————————————————————————						
X	達成	3							
7 <u>.</u>		薬は指標の目標値と	-実績値により算出します	。目標値が0の	年度は表示さ	れません。			
	7. 評価【CHECK】			。 B標値がOの	年度は表示さ				
-		西【CHECK】 西項目と評価の視点	評価内容	・。目標値がOの		 されません。 平価の視点を踏	まえて記入)		
	評価	面【CHECK】		。目標値がOの			まえて記入)		
当該生	評価 年 ^{業の年} 年度で	面【CHECK】 面項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より	評価内容 口 1. 計画を上回る	。目標値がOの			まえて記入)		
当該	評価 年 ^{業の年} 年度で	西【CHECK】 西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □				まえて記入)		
当該4うな道	平価 年 の年で 形	面【CHECK】 面項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 2. 目標を上回る				まえて記入)		
当該は うな道 6. 活り 満:上 「50%	平価 年業度生捗 計量 10%以回 10%u 10%u 10%u 10%u 10%u 10%u 10%u 10%u	面【CHECK】 面項目と評価の視点 E度計画の進捗度 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「京の達成率【CHECK]より ::大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%以下:目標とおり」、 44ま第、下周2、「500%未業、大個2、「500%未業、大個2、「500%未業、大個2、「500%」以	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る				まえて記入)		
当該は うな道 6. 活り 満:上 「50%	平価 年業度生捗 計量 10%以回 10%u 10%u 10%u 10%u 10%u 10%u 10%u 10%u	面【CHECK】 面項目と評価の視点 E度計画の進捗度 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「京の達成率【CHECK]より ::大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%以下:目標とおり」、 44ま第、下周2、「500%未業、大個2、「500%未業、大個2、「500%未業、大個2、「500%」以	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり				まえて記入)		
当該4 うな道 6. 活「150% 満:上 「50% 下回る	平価年業度を表現した。 本集を主要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	西【CHECK】 西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「R80%を100%以下:150%を150%未 「R80%を100%以下:150%未満; 大幅に最も達成度の低い指標で評価	評価内容 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る		評価理由(記	平価の視点を踏			
当該4 うな道 6. 活 「150% 満:上 「50% 下回る	平価年業度を表現した。 本集を主要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	西【CHECK】 西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「R80%~150%は下:1月標とおり」、 9%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る] 1-1 意図的	評価理由(記	平価の視点を踏	図的に縮小		
当該4 うな道 6. 活「150% 満:上 「50% 下回る	評価年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 1 5 5 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1	西【CHECK】 西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「OHECK]より :: 大幅に上回る」、「101%~150%未 : た幅に上回る」、「101%~250%未 ※1、た幅に上回る」、「50%未満: 大幅に 最も達成度の低い指標で評価	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る		評価理由(記 に拡充 に自然増加	平価の視点を踏 口 4-1 意図 口 4-2 制度			
当該4 うな道 6. 活「150% 満:上 「50% 下回る	評価年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 1 5 5 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1	国【CHECK】 国項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「OME (CHECK)より は 大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%以下:目標とおり」、 %未満:下回る」、「50%未満:大幅に最も達成度の低い指標で評価 この成果を踏まえた今後 今後の方向性	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 ■ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	□ 1-1 意図的 □ 1-2 制度的 □ 2-1 手段等 □ 2-2 効率化	評価理由(記 が充 に自然増加 の改善 、簡素化	平価の視点を踏 □ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨年 □ 5-2 意図	図的に縮小 度的に自然減少 耳実施等、意図 図的に廃止		
当該な進 6. 活の 「1500 下回の 8.	評価年の年で状況 特別の以上的では、 事業年生	西【CHECK】 西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 第の達成率【CHECK】より ::大幅に上回る」、「101%~150%未 : 下回る」、「50%未満: 大幅に最も達成度の低い指標で評価 この成果を踏まえた今後 今後の方向性	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回る ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 5. 目標を大幅に下回る □ 3. 概ね目標を	コー1 意図的 コー2 制度的 コ 2-1 手段率化 コ 2-2 他事等 コ 2-3 他事でであること	に拡充 に自然 に自 の で を となった。 今後とき	平価の視点を踏 □ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨意図 □ 5-2 制度 □ 5-3 制度	図的に縮小 度的に自然減少 軍実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	的に休止	

事務事業⊐ート 038500 重点施策 該当なし 平成30年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 環境汚染化学物質対策事業 所属名 市民生活部環境局 生活環境課

1	其	木	害	報

	-113 IN						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち				平成30年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活な	快適でゆとりある生活環境づくり			ダイオキシン類対策特別措置法
¹⁷ の	施策	4204	環境保全活動の推進			根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	令和2年度	化灰山四寸	
目施	湖山池中央部のC	湖山池中央部のCOD			5.5mg	事業分類区分	ソフト(義務)
標の				0	0	運営方法	外部委託
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 環境	竟汚染化学	物質対策事業費			予算事業コード	01-04-01-06-02-05

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

<u> 4. 事未口的</u>	
対象 (何を、誰を)	市民及び東部四町域住民
意図 (どのような状態 にするために)	健康保護及び生活環境を保全するため
手段 (どうするのか)	大気・水質・土壌のダイオキシン類による汚染状況の常時監視及び事業場の行政検査を行う。

2	3.事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入										
<u>.</u>	事未の	十发办司四	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度				
内	年度別計画		1 750.20 1 72	1,0000 1,00	行政検査の実施	行政検査の実施	行政検査の実施				
容	年度	 医別実績			行政検査の対象事業 場数 5件						
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)				
		費(A+B)	0	0	11,995	0	0				
串	直接	経費 A	0	0	4,752	0	0				
事業	±+± 4 7	国・県	0	0	0	0	0				
書	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0				
_	源内訳		0	0	794	0	0				
		一般財源	0	0	3,958	0	0				
	人	牛費 B	0	0	7,243	0	0				
曲	員数の	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00				
収	_{貝数の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	r 10/\	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.	頁源	を投入することで美施した活動の大き	るを衣	9 括標	[PLAN-DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	行政検査の対象事業場数	数	目標	0	0	3	3	3
				実績	0	0	5	0	0
		(指標の説明)							
	2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要				【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動) 【【問合せ先】環境保全係 0857-30-8084							
				【10次総の施策体系】4204							
			【予算計上の経過】								
			【事業の概要】	【事業の概要】							
				ダイオキシン類対策特別措置法に基づく事務を行う。 「事業の成果」							
				【事業の成果】 大気・水質・土壌のダイオキシン類による汚染状況について常時監視を行い、公害発生 の監視及び未然防止に努めた。							
	Ī	事務事業の実施概要		【今後の課題・方向性】 今後とも法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。							
6.	活重	助指標の達成率 【CHE									
F		才 行政検査の対象事業場数	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度			
指標		<u> </u>				167%					
達成	2	l									
率	3							 _			
X :	 達成率は指標の目標値と実績値により算出しま			「。目標値がOの年度は表示されません。							
		[CHECK]									
\vdash		西項目と評価の視点	評価内容 □ 1. 計画を上回る	+	評価理田(部	評価の視点を踏っ	まえて記人)				
	年	- 度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり								
当該全	年度で	F及が計画・美様(PLAN・DOJより ・予定した事業が3月末時点でどのよ 況となったか。	□ 3. 事業未完了 □								
	_	事事()) N 子	■ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る								
Γ1509	%以上	票の達成率【CHECK】より ::大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり								
満:上	=回る」、 6~ 809	、「80%~100%以下:目標どおり」、 	□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る								
r)] //	反も注所及のため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	口 ひ. 口体とハ油・・ロン								
8.	事業	<u> ミの成果を踏まえた今後</u>	後の方向性【ACTION】								
	_] 1-1 意図的		□ 4-1 意図 □ 4-2 制度	図的に縮小 度的に自然減少				
			口 の 功美継続 一口	・ユーク 知性的							
] 1-2 制度的] 2-1 手段等(□ 5-1 臨年	年実施等、意図的	的に休止			
		今後の方向性	■ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □] 2-1 手段等(] 2-2 効率化。	の改善 、簡素化	□ 5-2 意図	図的に廃止	的に休止			
		今後の方向性	■ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □	□ 2−1 手段等(□ 2−2 効率化。 □ 2−3 他事業。 対策特別措置法に基づく	の改善 、簡素化 との統合 〈事務を行うこととな	□ 5−2 意図 □ 5−3 制度 なった。今後とも法令	図的に廃止 度的に終了 ^{令に基づき、大気・水}	k質・土壌のダイオ			